

# 『第192回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2023年 4～6月期の実績 2023年 7～9月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	108社
(業種別内訳)	製 造 業 30社	卸 売 業 7社	
	小 売 業 27社	サ ー ビ ス 業 11社	
	建 設 業 21社	不 動 産 業 12社	
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 業務部 地域貢献課		

## ☆ 目次 ☆

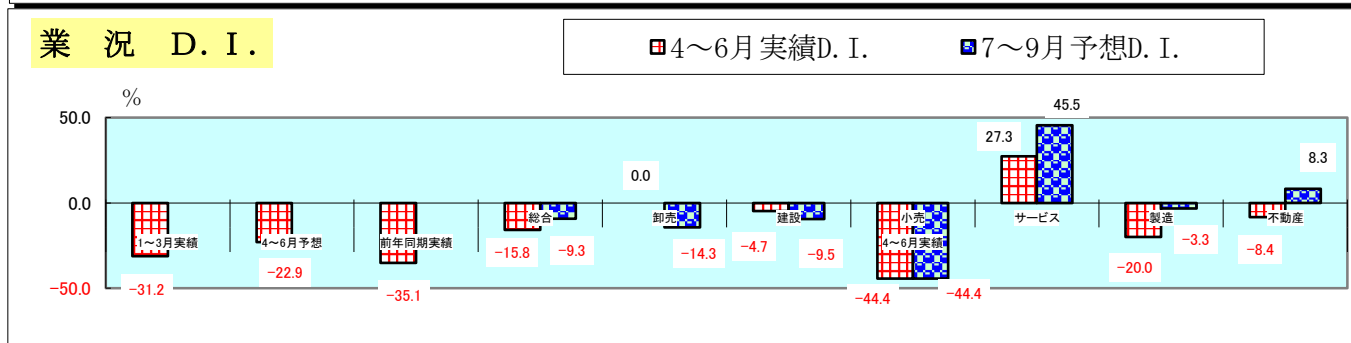
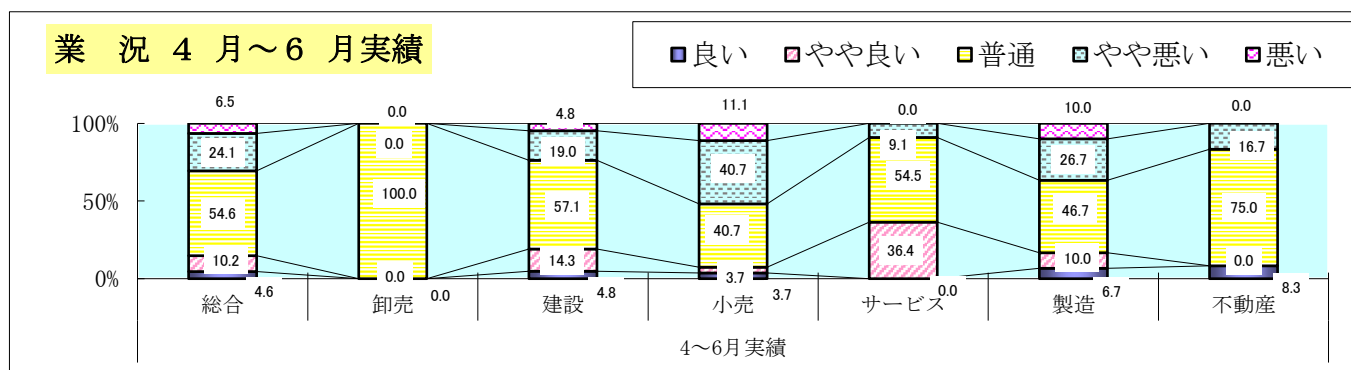
1 概況	P. 1
2(1) 前期に比べた売上額の動き	P. 2
2(2) 前期に比べた受注残高・施工高の動き	P. 3
2(3) 前期に比べた収益の動き	P. 4
2(4) 前期に比べた販売価格（料金価格・請負価格）の動き	P. 5
2(5) 前期に比べた仕入価格（原材料価格）の動き	P. 6
2(6) 前期に比べた在庫の動き	P. 7
2(7) 前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
3(1) 前年同期に比べた売上の動き	P. 9
3(2) 前年同期に比べた収益の動き	P. 10
3(3) 前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
4(1) 前期に比べた残業時間の動き	P. 12
4(2) 前期に比べた人手の動き	P. 13
5 前期に比べた借入金の動き及び借入難易度	P. 14
6(1) 前期に比べた設備投資の動き	P. 15
6(2) 前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査 … 「アフターコロナと中小企業」	P. 19～P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



# 1. 概 況

概 況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	4～6月実績D. I.	7～9月予想D. I.
1～3月実績							-31.2	
4～6月予想							-22.9	
前年同期実績							-35.1	
4～6月実績	総合	4.6	10.2	54.6	24.1	6.5	-15.8	-9.3
	卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	-14.3
	建設	4.8	14.3	57.1	19.0	4.8	-4.7	-9.5
	小売	3.7	3.7	40.7	40.7	11.1	-44.4	-44.4
	サービス	0.0	36.4	54.5	9.1	0.0	27.3	45.5
	製造	6.7	10.0	46.7	26.7	10.0	-20.0	-3.3
不動産	8.3	0.0	75.0	16.7	0.0	-8.4	8.3	



## ○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

'23年4～6月期の業況判断D. I. は△15.8で、'23年1～3月期（前期D. I. △31.2）と比べ15.4ポイント良化、前期調査における今期の予想D. I. △22.9に対しても7.1ポイント良化しました。

前年同期比でも19.3ポイント良化しました。

次期予想D. I. については△9.3と今期より6.5ポイント良化の予想となりました。

## ○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況]（信金中央金庫 地域・中小企業研究所調べ）

'23年4～6月期（今期）の業況判断D. I. は△7.4、前期比6.5ポイント改善とコロナ前の水準を回復した。

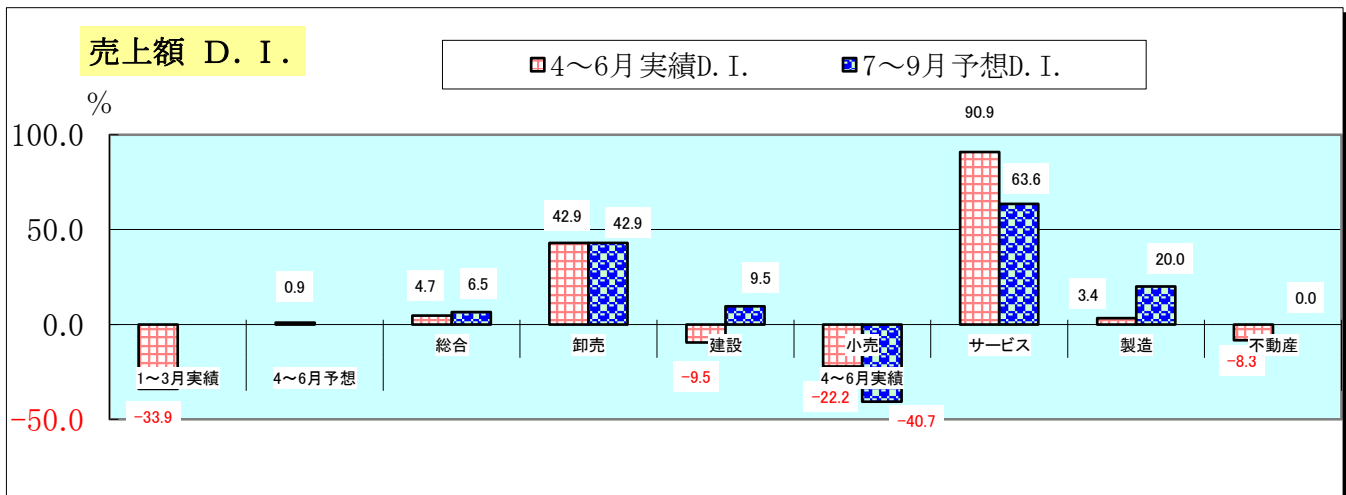
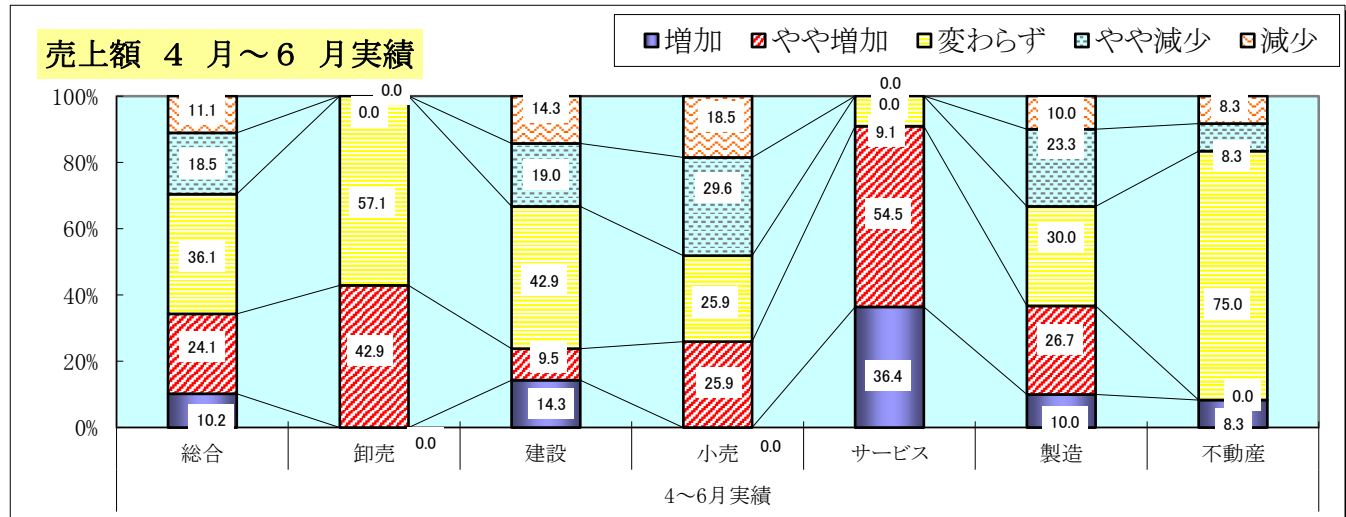
収益面では、前年同期比売上額判断D. I. がプラス12.3と前期比5.7ポイント改善、同収益判断D. I. は△2.3と同8.6ポイント改善した。販売価格判断D. I. はプラス29.5と2四半期ぶりに上昇した。人手過不足判断D. I. は△24.4と2四半期ぶりに人手不足感が若干強まった。設備投資実施企業割合は21.6%と前期比1.3ポイント上昇し、およそ3年ぶりの水準を回復した。業種別の業況判断D. I. は全6業種で、地域別にも全11地域で、それぞれ改善した。

'23年7～9月期（来期）の予想業況判断D. I. は△5.6、今期実績比1.8ポイントの改善を見込んでいる。業種別には不動産業を除く5業種で、また、地域別には全11地域中、北陸と四国を除く9地域で改善の見通しとなっている。

## 2. 前期に比べた動き

### (1) 売上額の動き

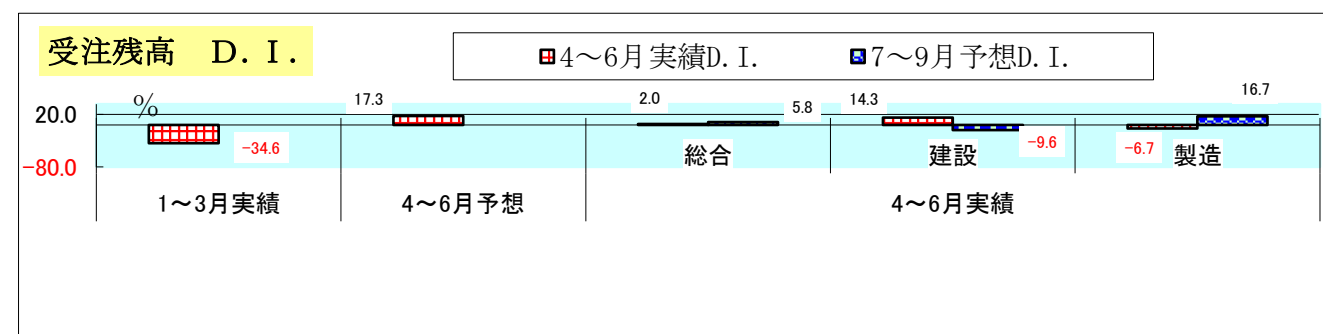
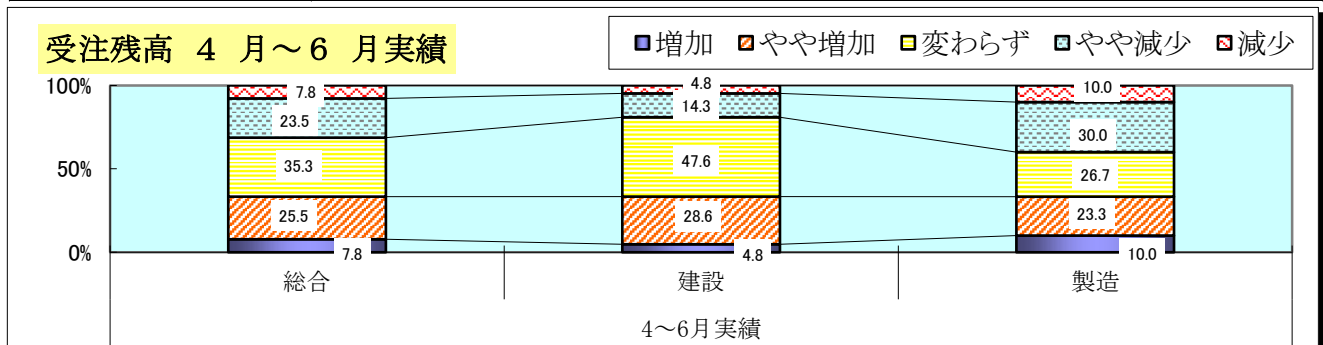
売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D. I.	7~9月予想D. I.
1~3月実績							-33.9	
4~6月予想							0.9	
4~6月実績	総合	10.2	24.1	36.1	18.5	11.1	4.7	6.5
	卸売	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	42.9	42.9
	建設	14.3	9.5	42.9	19.0	14.3	-9.5	9.5
	小売	0.0	25.9	25.9	29.6	18.5	-22.2	-40.7
	サービス	36.4	54.5	9.1	0.0	0.0	90.9	63.6
	製造	10.0	26.7	30.0	23.3	10.0	3.4	20.0
	不動産	8.3	0.0	75.0	8.3	8.3	-8.3	0.0



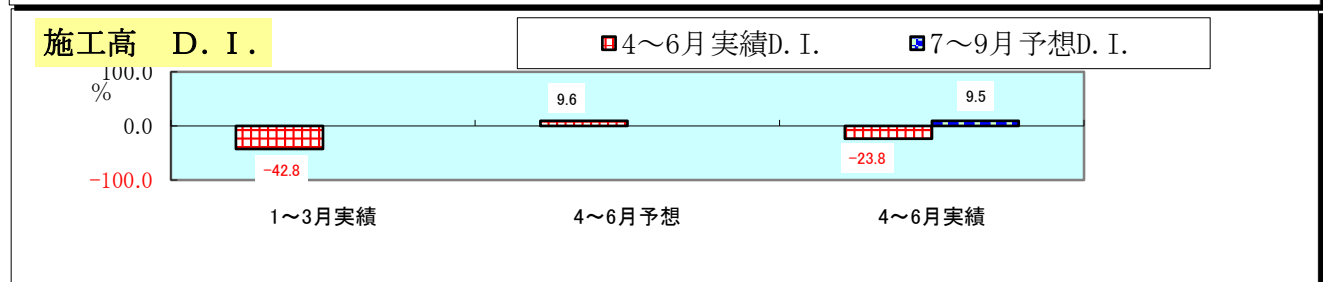
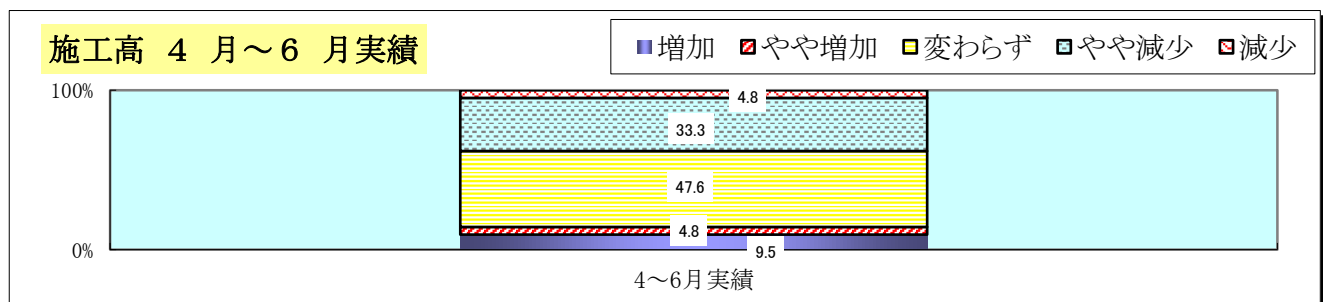
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」とした企業は全体の34.3%、「やや減少」「減少」とした企業は29.6%を示し、今期D. I. は4.7となりました。
- 今期の売上額判断D. I. 4.7は、前期実績D. I.  $\Delta$ 33.9から38.6ポイント増加、前期調査における今期の予想D. I. 0.9に対しても3.8ポイントの増加となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で90.9ポイントと大幅な増加を示し、次いで卸売業42.9、製造業で3.4ポイントの増加となった。一方、小売業22.2、建設業9.5、不動産業で8.3ポイントの減少を示した。
- 7~9月予想D. I. は6.5で、4~6月実績より1.8ポイントの売上高増加予想となりました。

## (2) 受注残高・施工高の動き

受注残高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D. I.	7~9月予想D. I.
1~3月実績							-34.6	
4~6月予想							17.3	
4~6月実績	総合	7.8	25.5	35.3	23.5	7.8	2.0	5.8
	建設	4.8	28.6	47.6	14.3	4.8	14.3	-9.6
	製造	10.0	23.3	26.7	30.0	10.0	-6.7	16.7



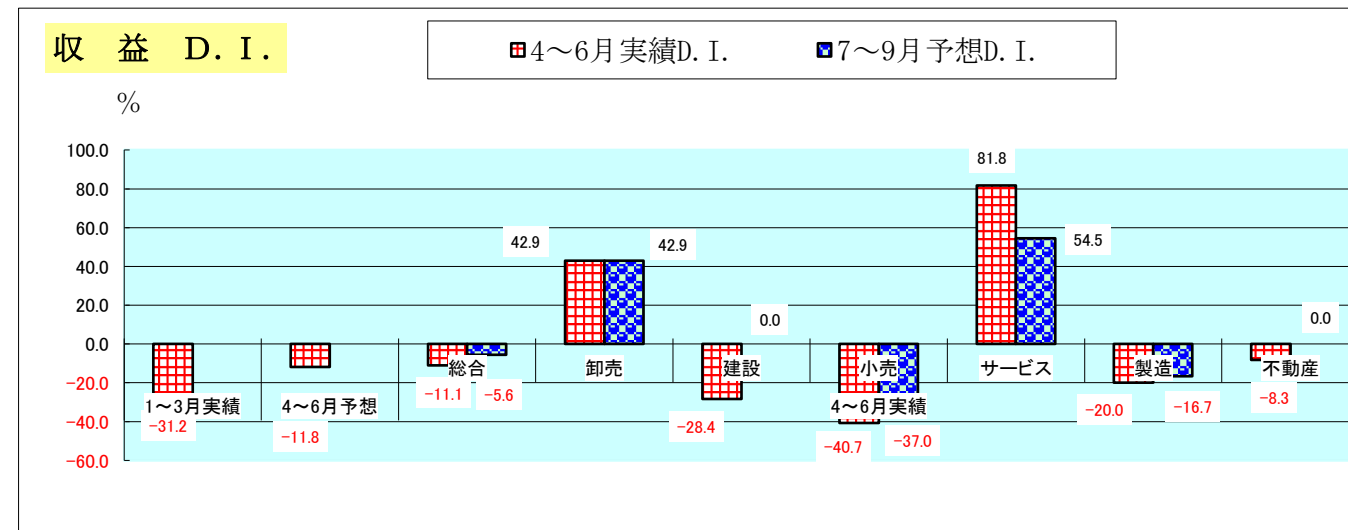
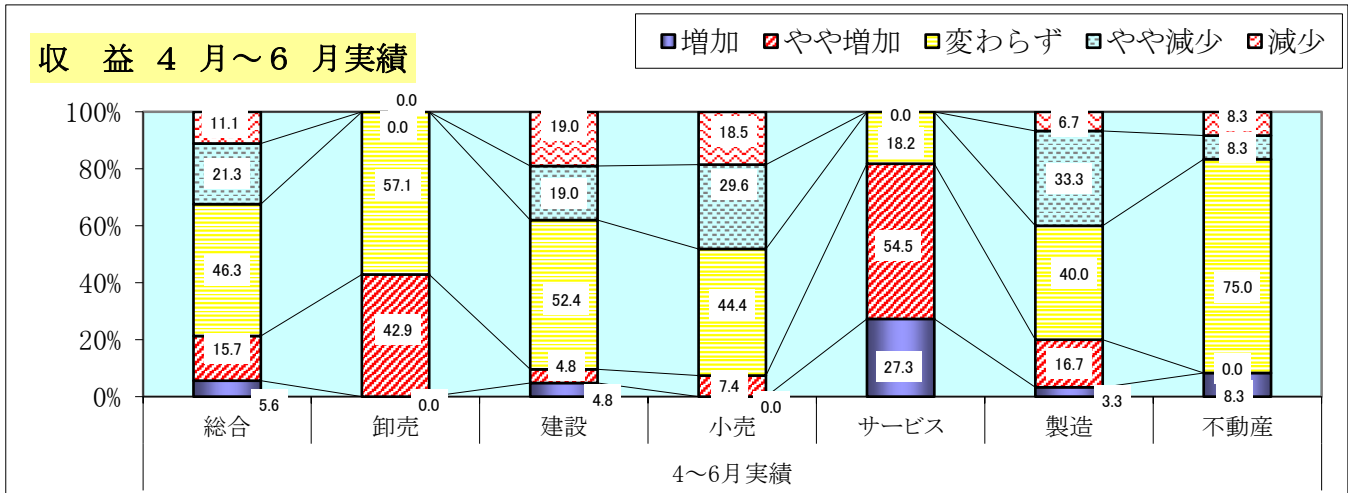
施工高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D. I.	7~9月予想D. I.
1~3月実績							-42.8	
4~6月予想							9.6	
4~6月実績		9.5	4.8	47.6	33.3	4.8	-23.8	9.5



- 今期の受注残高(建設業、製造業のみ)D. I. は2.0で、前期実績のD. I.  $\Delta$ 34.6に対し36.6ポイントの増加となり、前期調査における今期予想D. I. 17.3に対しては15.3ポイントの減少となりました。また、受注残高7~9月予想D. I. は5.8で、4~6月実績対比3.8ポイントの増加予想となりました。
- 今期の施工高(建設業のみ)D. I. は $\Delta$ 23.8となり、前期実績D. I.  $\Delta$ 42.8に対し19.0ポイント増加し、前期調査における今期予想D. I. 9.6に対しては33.4ポイント減少しました。また、施工高7~9月予想D. I. は9.5で、4~6月実績対比33.3ポイントの増加予想となりました。

### (3) 収益の動き

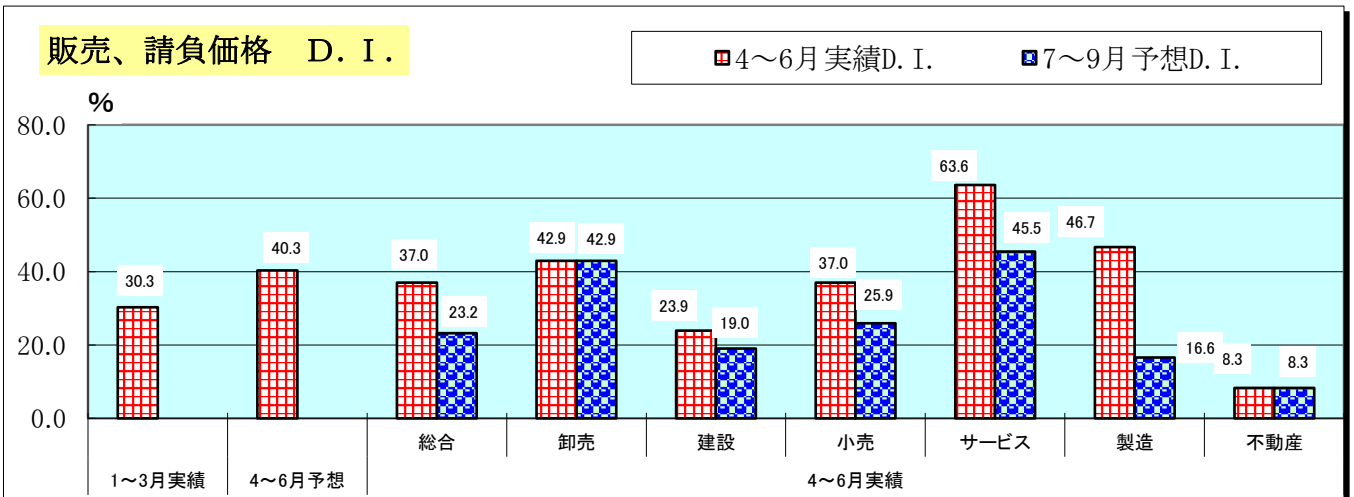
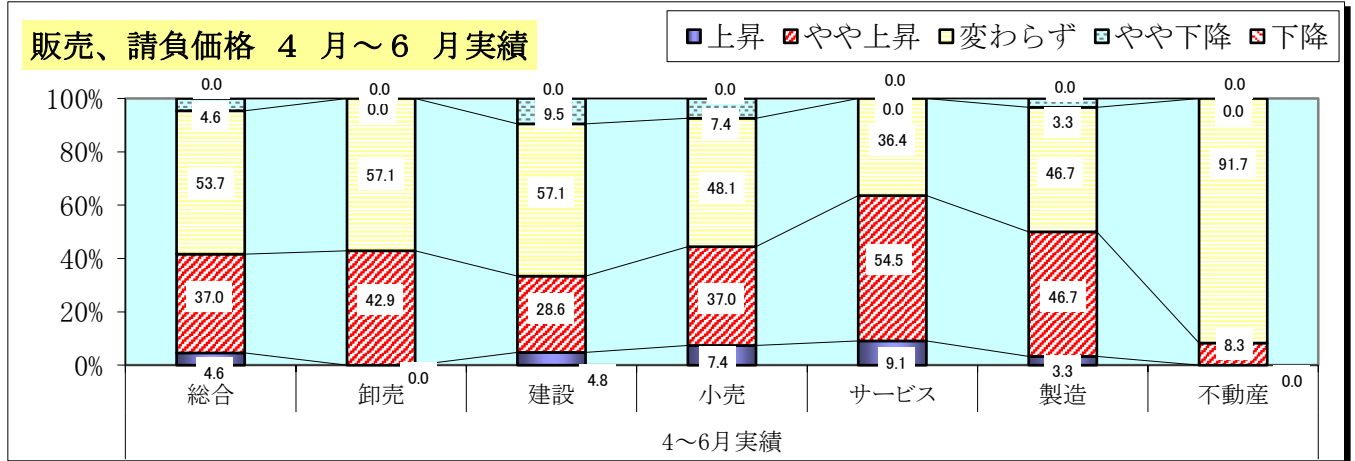
収益の動き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D. I.	7~9月予想D. I.
1~3月実績							-31.2	
4~6月予想							-11.8	
4~6月実績	総合	5.6	15.7	46.3	21.3	11.1	-11.1	-5.6
	卸売	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	42.9	42.9
	建設	4.8	4.8	52.4	19.0	19.0	-28.4	0.0
	小売	0.0	7.4	44.4	29.6	18.5	-40.7	-37.0
	サービス	27.3	54.5	18.2	0.0	0.0	81.8	54.5
	製造	3.3	16.7	40.0	33.3	6.7	-20.0	-16.7
不動産	8.3	0.0	75.0	8.3	8.3	-8.3	0.0	



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」とした企業は21.3%、「やや減少」「減少」とした企業は32.4%で、今期D. I. は△11.1となりました。
- 今期の収益D. I. は、前期実績D. I. △31.2から20.1ポイント増加し、前期調査における、今期予想D. I. △11.8に対しても0.7ポイント増加しました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業81.8、卸売業42.9ポイント増加となった。他の業種では減少となり、殊に小売業で40.7ポイントと大幅な減少を示しています。
- 7~9月予想D. I. は△5.6で、4~6月実績より5.5ポイントの収益増加予想となりました。

#### (4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

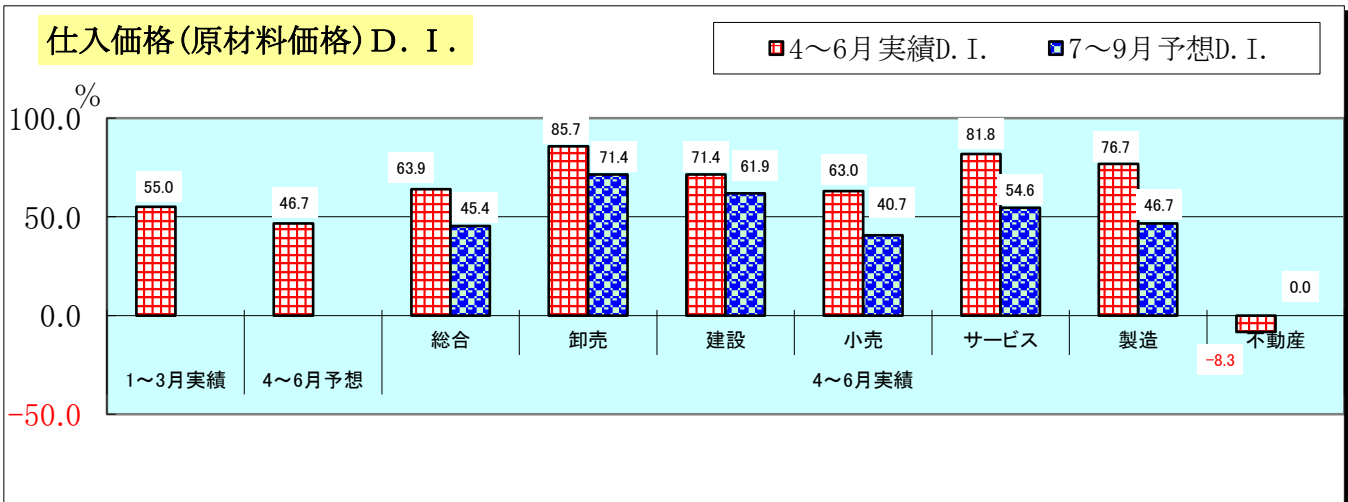
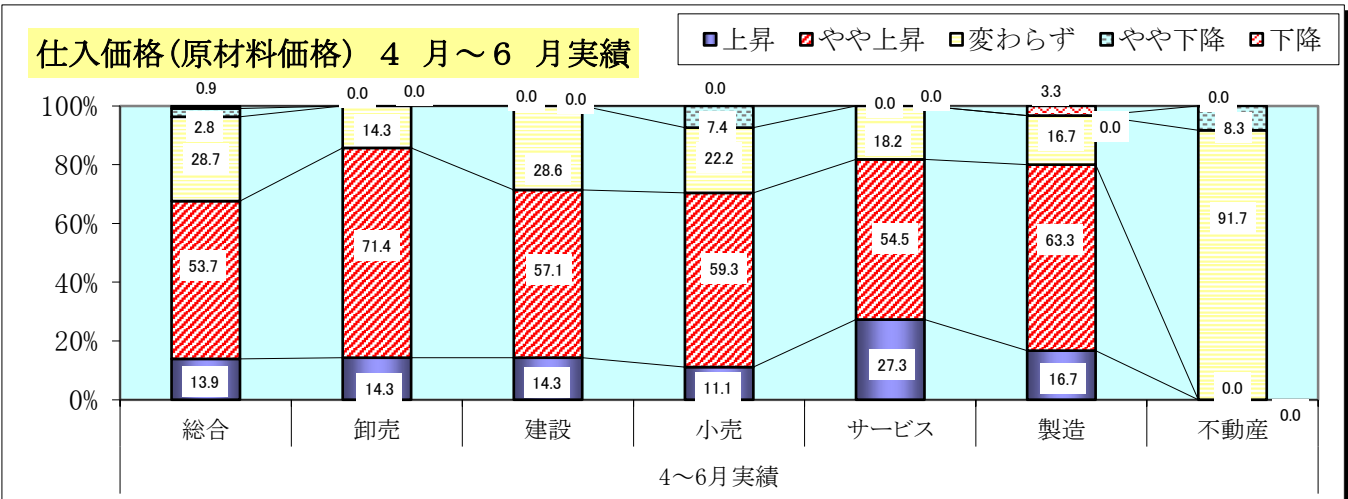
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4～6月実績D. I.	7～9月予想D. I.
1～3月実績							30.3	
4～6月予想							40.3	
4～6月実績	総合	4.6	37.0	53.7	4.6	0.0	37.0	23.2
	卸売	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	42.9	42.9
	建設	4.8	28.6	57.1	9.5	0.0	23.9	19.0
	小売	7.4	37.0	48.1	7.4	0.0	37.0	25.9
	サービス	9.1	54.5	36.4	0.0	0.0	63.6	45.5
	製造	3.3	46.7	46.7	3.3	0.0	46.7	16.6
不動産	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0	8.3	8.3	



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」とした企業は41.6%、「やや下降」「下降」とした企業は4.6%で、今期D. I. は37.0となりました。
- 今期の販売価格D. I. は、前期実績D. I. 30.3から6.7ポイント上昇し、前期調査におけ今期予想D. I. 40.3に対しては3.3ポイント下降となりました。
- 業種別の今期D. I. は、全ての業種で上昇を示し、サービス業63.6、製造業46.7、卸売業42.9ポイント等の上昇となりました。
- 7～9月予想D. I. は23.2で、4～6月実績より13.8ポイントの下降予想となりました。

(5) 仕入価格（原材料価格）の動き

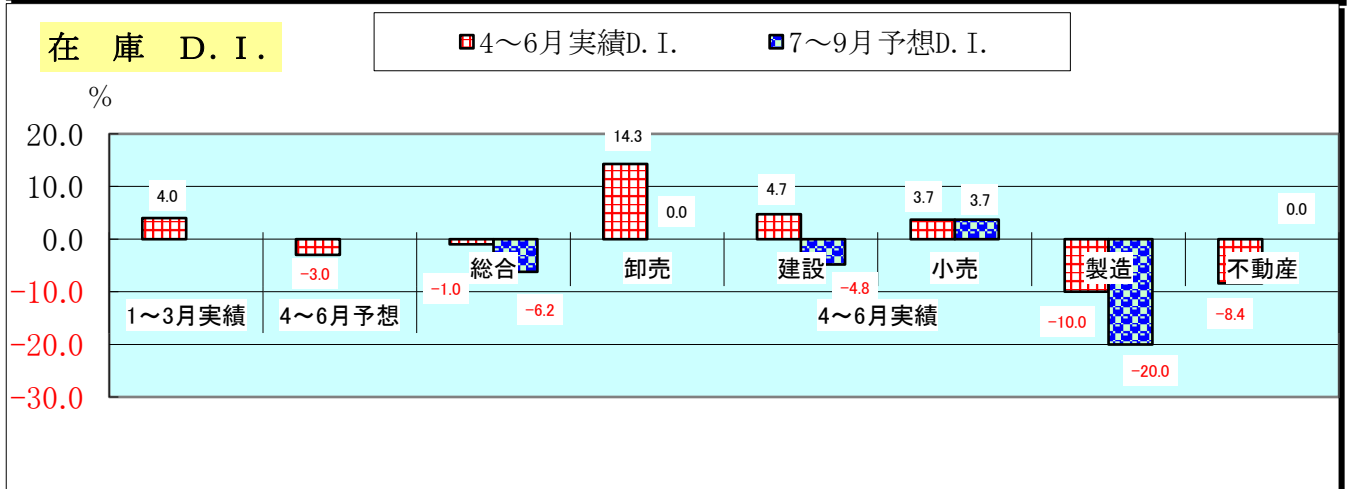
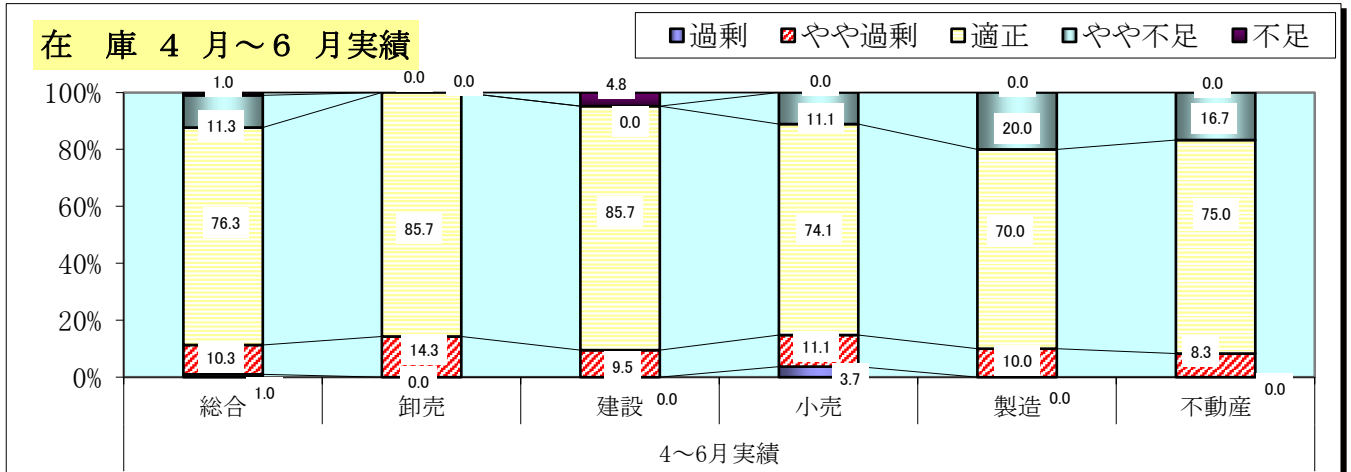
仕入価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4～6月実績D. I.	7～9月予想D. I.
1～3月実績							55.0	
4～6月予想							46.7	
4～6月実績	総合	13.9	53.7	28.7	2.8	0.9	63.9	45.4
	卸売	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	85.7	71.4
	建設	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0	71.4	61.9
	小売	11.1	59.3	22.2	7.4	0.0	63.0	40.7
	サービス	27.3	54.5	18.2	0.0	0.0	81.8	54.6
	製造	16.7	63.3	16.7	0.0	3.3	76.7	46.7
	不動産	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	-8.3	0.0



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」とした企業は67.6%、「やや下降」「下降」とした企業は3.7%で、今期D. I. は63.9となりました。
- 今期の仕入価格D. I. は、前期実績D. I. 55.0から8.9ポイント上昇し、前期調査における今期予想D. I. 46.7に対しても17.2ポイントの上昇となりました。
- 業種別の今期D. I. は、不動産業を除く全ての業種で仕入価格の上昇を示しました。
- 7～9月予想D. I. は45.4で、4～6月実績より18.5ポイントの下降予想となりました。

## (6) 在庫の動き

在 庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4～6月実績D. I.	7～9月予想D. I.
1～3月実績							4.0	
4～6月予想							-3.0	
4～6月実績	総合	1.0	10.3	76.3	11.3	1.0	-1.0	-6.2
	卸売	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0
	建設	0.0	9.5	85.7	0.0	4.8	4.7	-4.8
	小売	3.7	11.1	74.1	11.1	0.0	3.7	3.7
	製造	0.0	10.0	70.0	20.0	0.0	-10.0	-20.0
不動産	0.0	8.3	75.0	16.7	0.0	-8.4	0.0	

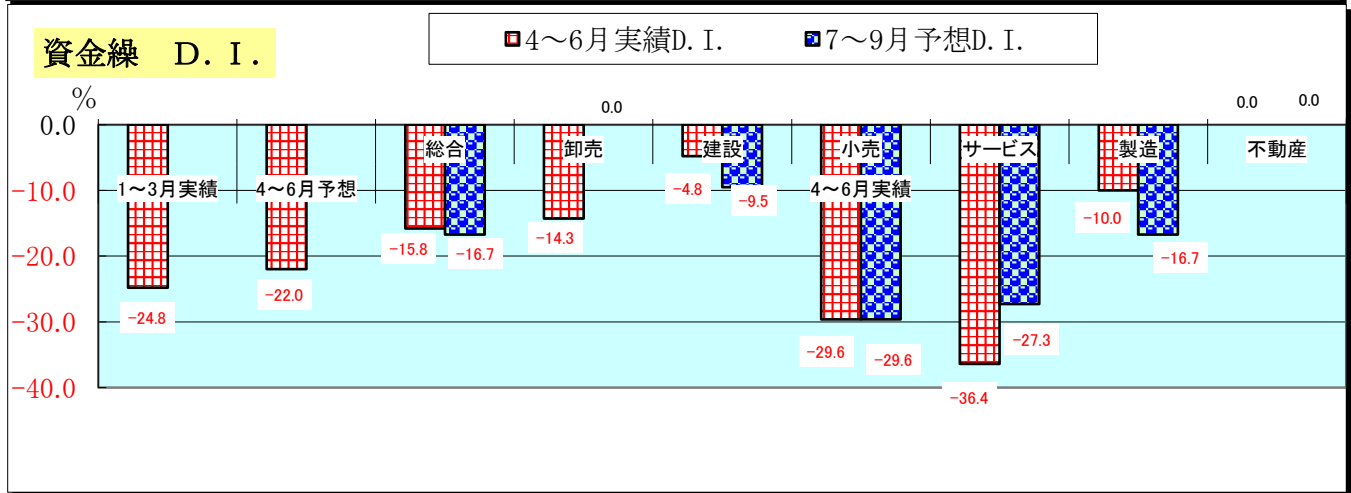
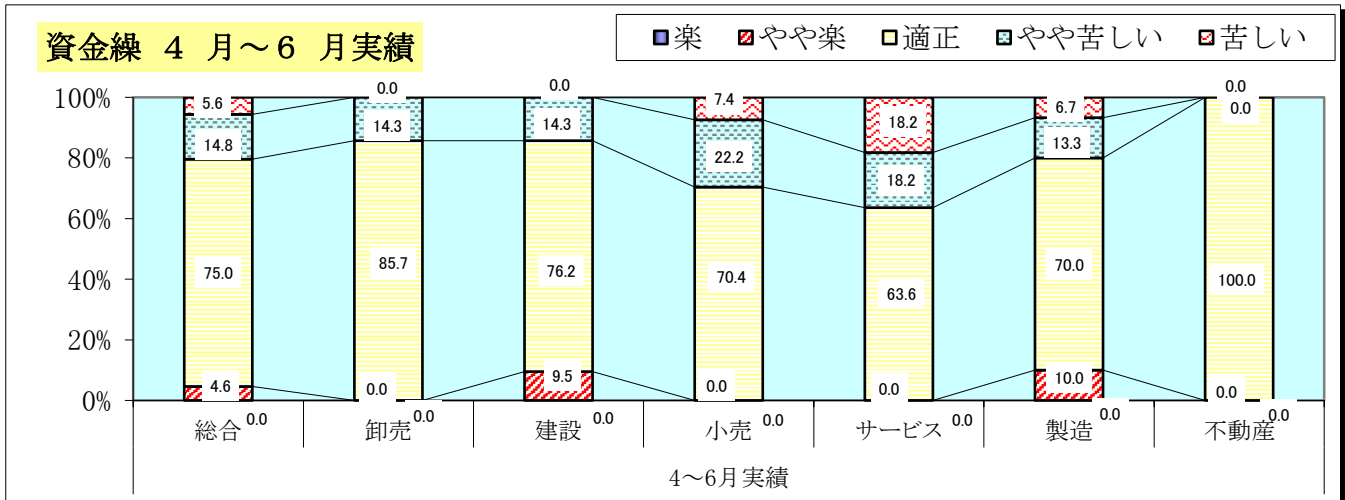


- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」とした企業が11.3%、「やや不足」「不足」とした企業が12.3%で、今期D. I. は△1.0となりました。
- 今期の在庫D. I. は、前期実績D. I. 4.0から5.0ポイントの不足傾向となり、前期調査における今期予想D. I. △3.0に対しては2.0ポイントの過剰傾向となりました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業14.3、建設業4.7、小売業3.7ポイントと在庫過剰を示しました。一方、製造業で△10.0、不動産業△8.4ポイントの不足を示しました。
- 7～9月予想D. I. は△6.2で、4～6月実績より5.2ポイントの不足予想となりました。



## (7) 資金繰りの動き

資金繰		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	4~6月実績D. I.	7~9月予想D. I.
1~3月実績							-24.8	
4~6月予想							-22.0	
4~6月実績	総合	0.0	4.6	75.0	14.8	5.6	-15.8	-16.7
	卸売	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0	-14.3	0.0
	建設	0.0	9.5	76.2	14.3	0.0	-4.8	-9.5
	小売	0.0	0.0	70.4	22.2	7.4	-29.6	-29.6
	サービス	0.0	0.0	63.6	18.2	18.2	-36.4	-27.3
	製造	0.0	10.0	70.0	13.3	6.7	-10.0	-16.7
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

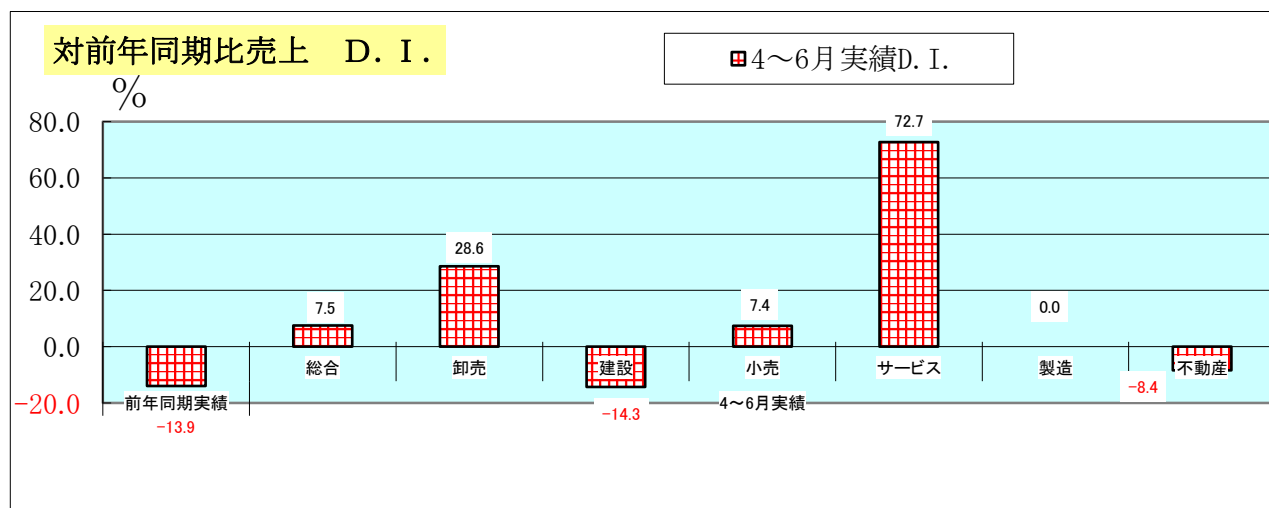
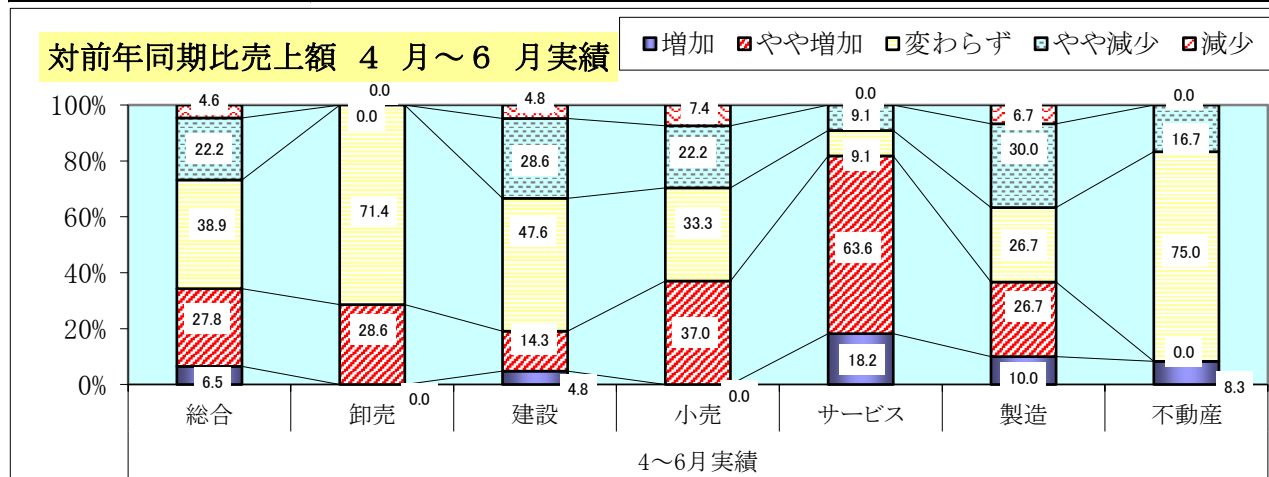


- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」とした企業は4.6%、「やや苦しい」「苦しい」とした企業は20.4%となり、今期D. I. は△15.8となりました。
- 今期の資金繰りD. I. は、前期実績D. I. △24.8から9.0ポイント良化。前期調査における今期予想D. I. △22.0に対しても6.2ポイント良化となりました。
- 業種別の今期D. I. は、不動産業を除く全ての業種で資金繰りの苦しい状況を示しております。
- 6~9月予想D. I. は△16.7で、4~6月実績より0.9ポイント資金繰りの悪化予想となりました。

### 3. 対前年同期に比べた動き

#### (1) 売上

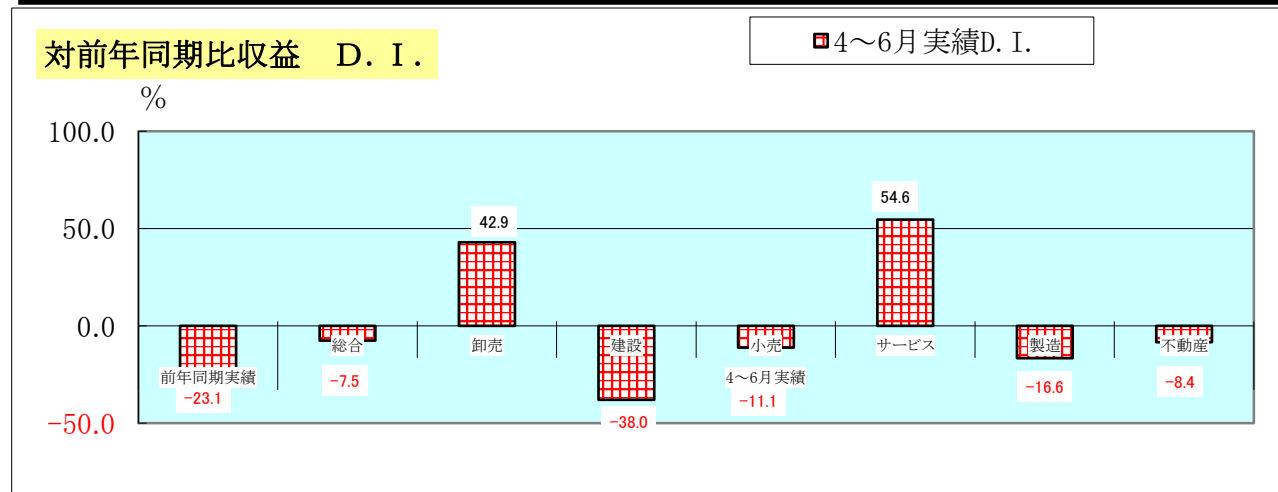
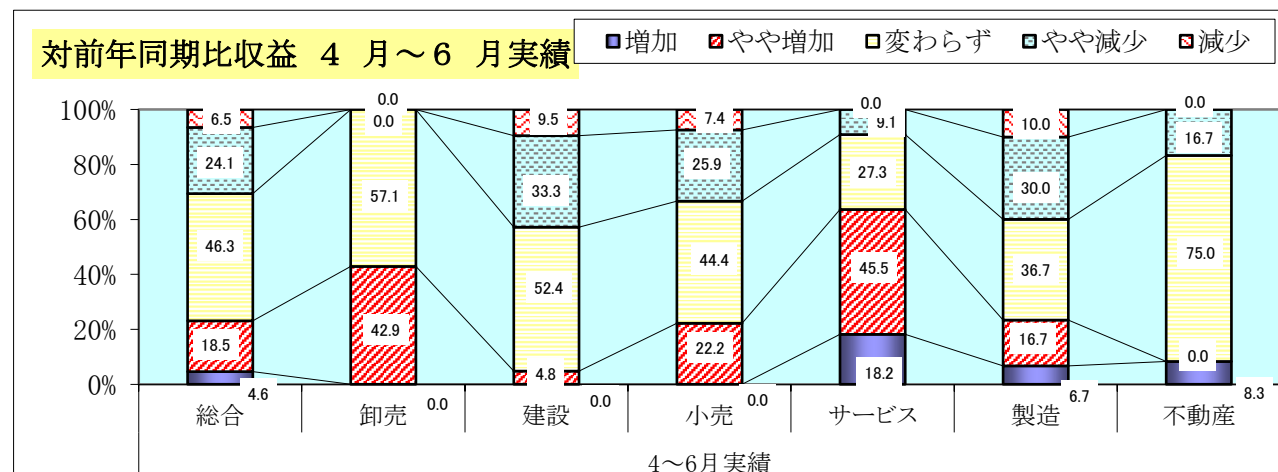
対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D. I.
前年同期実績							-13.9
4~6月実績	総合	6.5	27.8	38.9	22.2	4.6	7.5
	卸売	0.0	28.6	71.4	0.0	0.0	28.6
	建設	4.8	14.3	47.6	28.6	4.8	-14.3
	小売	0.0	37.0	33.3	22.2	7.4	7.4
	サービス	18.2	63.6	9.1	9.1	0.0	72.7
	製造	10.0	26.7	26.7	30.0	6.7	0.0
	不動産	8.3	0.0	75.0	16.7	0.0	-8.4



- 前年同期と比べた売上実績については、「増加」「やや増加」とした企業は34.3%、「やや減少」「減少」とした企業は26.8%で、今期D. I. は7.5となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I.  $\Delta$ 13.9より21.4ポイント増加となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で72.7ポイントと大幅な増加となり、次いで卸売業で28.6、小売業で7.4ポイントの増加となりました。一方、建設業で $\Delta$ 14.3、不動産業で $\Delta$ 8.4の減少となりました。また、製造業では均衡を示しました。

## (2) 収益

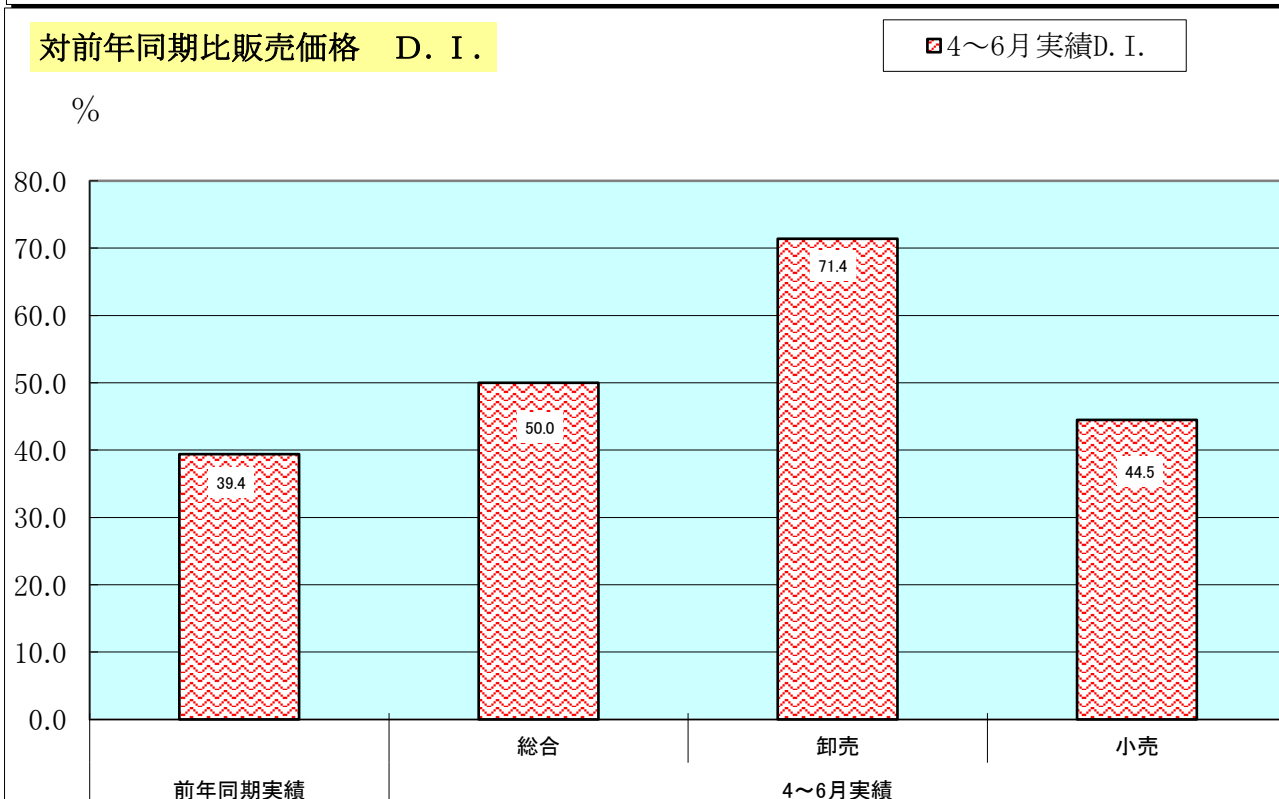
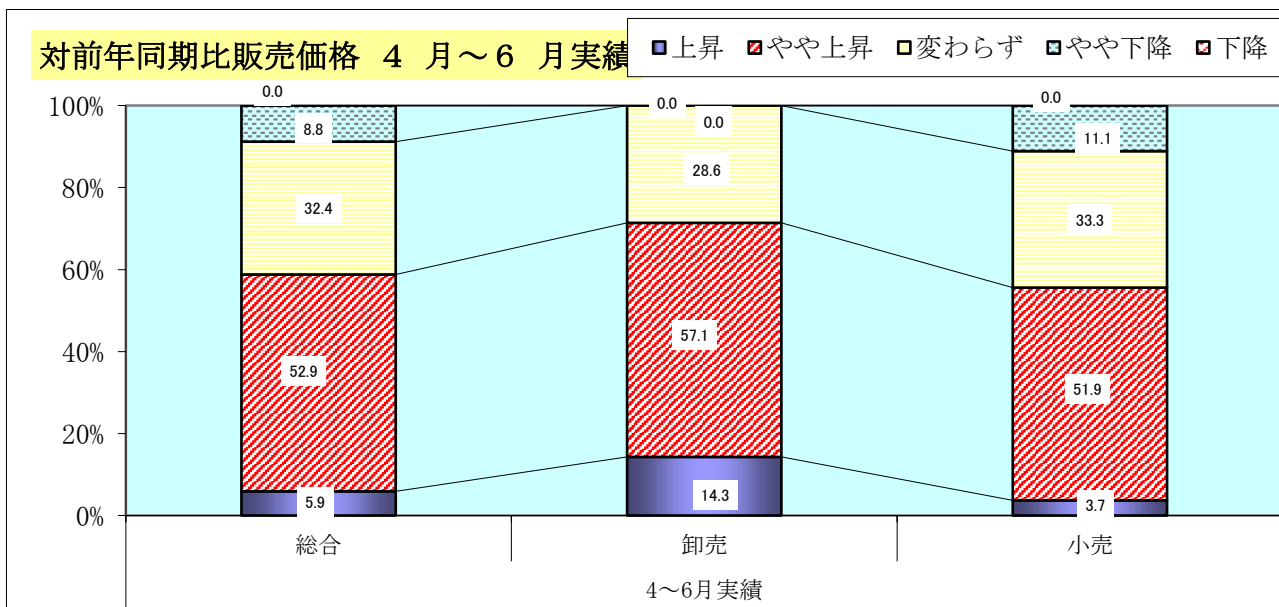
対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4～6月実績D.I.
前年同期実績							-23.1
4～6月実績	総合	4.6	18.5	46.3	24.1	6.5	-7.5
	卸売	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	42.9
	建設	0.0	4.8	52.4	33.3	9.5	-38.0
	小売	0.0	22.2	44.4	25.9	7.4	-11.1
	サービス	18.2	45.5	27.3	9.1	0.0	54.6
	製造	6.7	16.7	36.7	30.0	10.0	-16.6
	不動産	8.3	0.0	75.0	16.7	0.0	-8.4



- 前年同期と比べた収益については、「増加」「やや増加」とした企業は23.1%、「やや減少」「減少」とした企業は30.6%で、今期D.I.は△7.5となりました。
- 今期D.I.は、前年同期実績D.I.△23.1に対し、15.6ポイント増加となりました。
- 業種別の今期D.I.は、サービス業54.6、卸売業42.9ポイントの増加を示し、他業種は建設業△38.0、製造業△16.6ポイント等の減少となりました。

### (3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	4~6月実績D. I.
前年同期実績							39.4
4~6月実績	総合	5.9	52.9	32.4	8.8	0.0	50.0
	卸売	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0	71.4
	小売	3.7	51.9	33.3	11.1	0.0	44.5

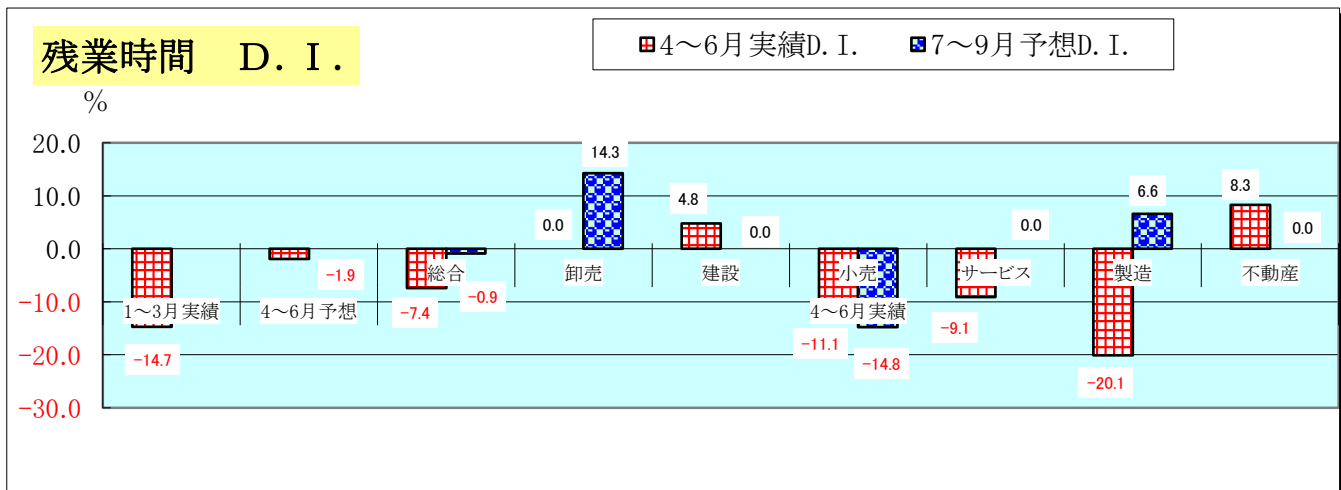
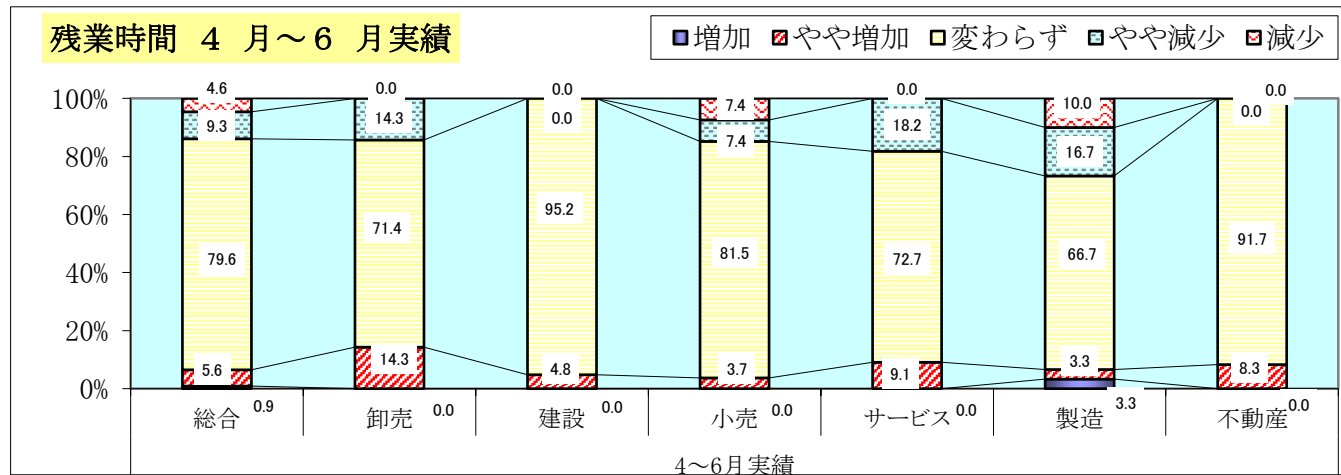


- 前年同期と比べた販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」とした企業は58.8%、「やや下降」「下降」とした企業は8.8%となり、今期D. I. は50.0となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I. 39.4に対し10.6ポイント上昇しました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業71.4、小売業44.5ポイントの上昇を示しました。

## 4. 雇用面の動き

### (1) 残業時間

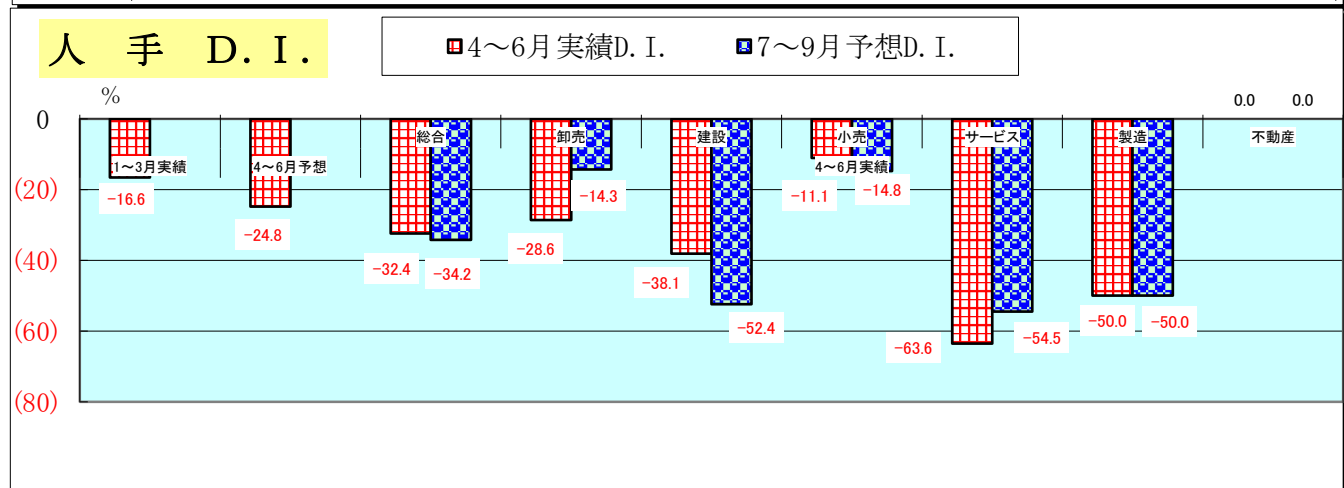
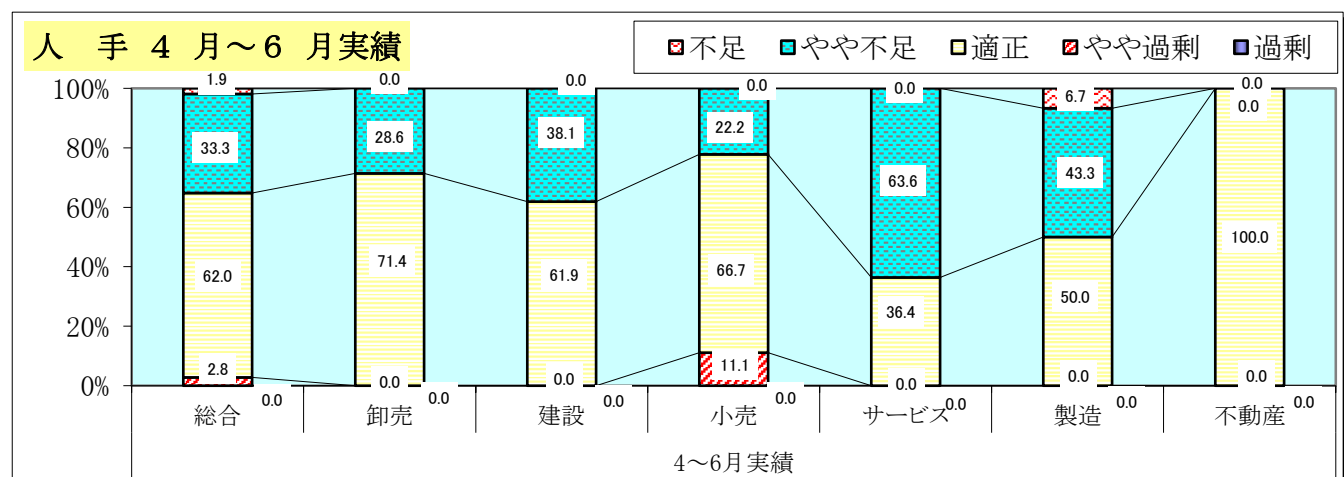
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	4~6月実績D. I.	7~9月予想D. I.
1~3月実績							-14.7	
4~6月予想							-1.9	
4~6月実績	総合	0.9	5.6	79.6	9.3	4.6	-7.4	-0.9
	卸売	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	14.3
	建設	0.0	4.8	95.2	0.0	0.0	4.8	0.0
	小売	0.0	3.7	81.5	7.4	7.4	-11.1	-14.8
	サービス	0.0	9.1	72.7	18.2	0.0	-9.1	0.0
	製造	3.3	3.3	66.7	16.7	10.0	-20.1	6.6
	不動産	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0	8.3	0.0



- 前期に比べて残業時間が、「増加」「やや増加」とした企業は6.5%、「やや減少」「減少」とした企業は13.9%で、今期D. I. は△7.4となりました。
- 今期D. I. は、前期実績D. I. △14.7に対し7.3ポイント残業時間の増加となりました。前期調査における今期予想D. I. △1.9に対しては5.5ポイント残業時間の減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、不動産業8.3、建設業4.8ポイントの増加、卸売業で均衡を示しました。その他の業種は減少を示し、製造業△20.1ポイントを示しました。
- 7~9月予想D. I. は△0.9で、4~6月実績より6.5ポイント残業時間の増加予想となりました。

## (2) 人手

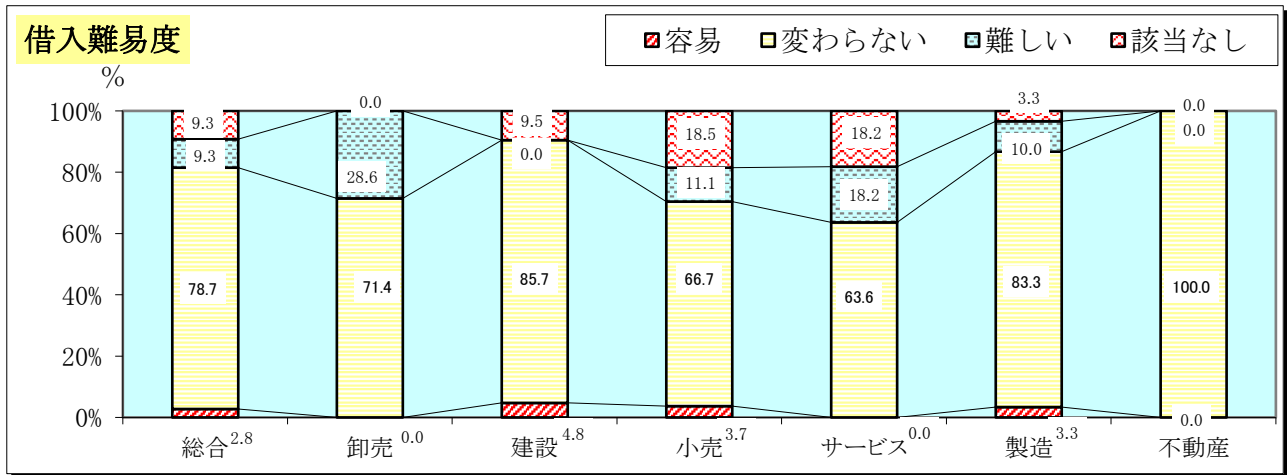
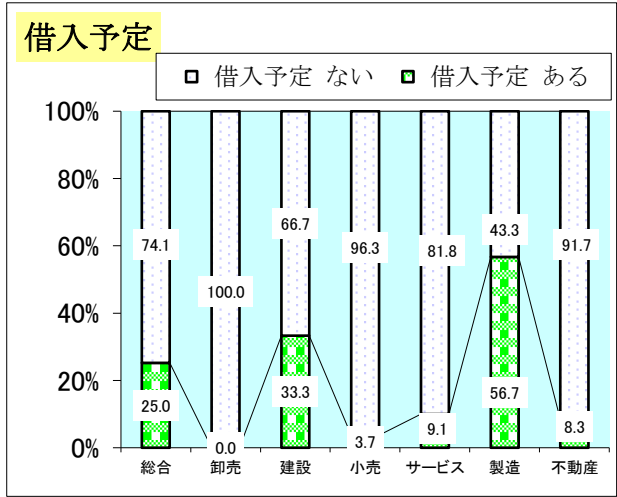
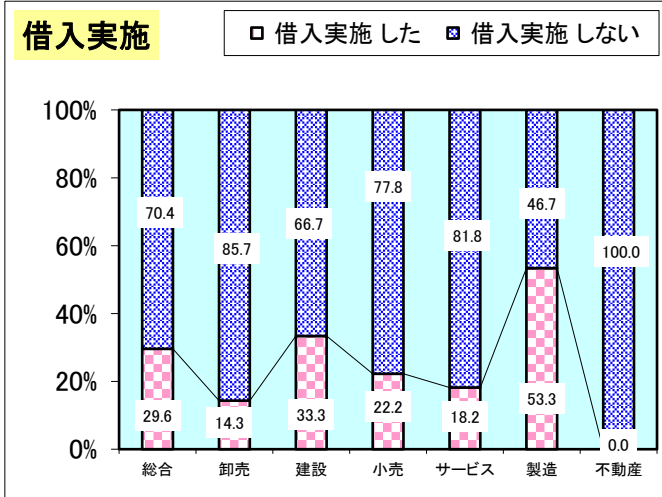
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4～6月実績D. I.	7～9月予想D. I.
1～3月実績							-16.6	
4～6月予想							-24.8	
4～6月実績	総合	0.0	2.8	62.0	33.3	1.9	-32.4	-34.2
	卸売	0.0	0.0	71.4	28.6	0.0	-28.6	-14.3
	建設	0.0	0.0	61.9	38.1	0.0	-38.1	-52.4
	小売	0.0	11.1	66.7	22.2	0.0	-11.1	-14.8
	サービス	0.0	0.0	36.4	63.6	0.0	-63.6	-54.5
	製造	0.0	0.0	50.0	43.3	6.7	-50.0	-50.0
不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	



- 今期の人手過不足については、「過剰」「やや過剰」とした企業は2.8%、「やや不足」「不足」とした企業は35.2%で、今期D. I. は△32.4となりました。
- 今期D. I. は前期実績D. I. △16.6から15.8ポイント、前期調査における今期予想D. I. △24.8に対しても、7.6ポイントの人手不足が顕著となりました。
- 業種別の今期D. I. は、不動産業以外の業種で人手不足を示しており、殊に、サービス業△63.6、製造業△50.0と人手不足が顕著となっています。
- 7～9月予想D. I. は△34.2で、4～6月実績より1.8ポイント人手不足感が強まっています。

## 5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	29.6	70.4	25.0	74.1	2.8	78.7	9.3	9.3
卸売	14.3	85.7	0.0	100.0	0.0	71.4	28.6	0.0
建設	33.3	66.7	33.3	66.7	4.8	85.7	0.0	9.5
小売	22.2	77.8	3.7	96.3	3.7	66.7	11.1	18.5
サービス	18.2	81.8	9.1	81.8	0.0	63.6	18.2	18.2
製造	53.3	46.7	56.7	43.3	3.3	83.3	10.0	3.3
不動産	0.0	100.0	8.3	91.7	0.0	100.0	0.0	0.0

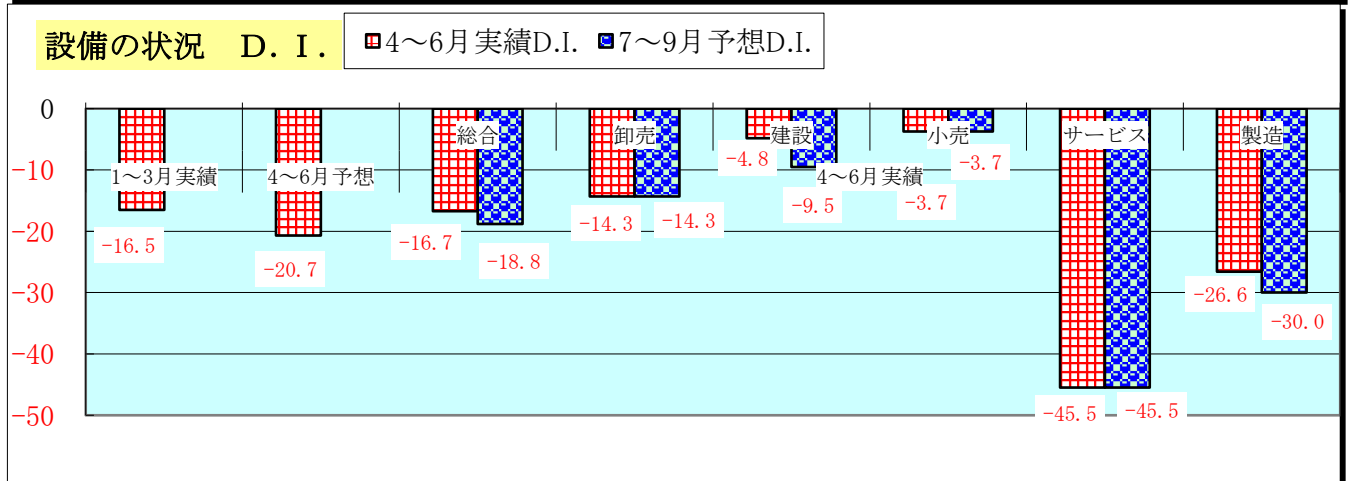
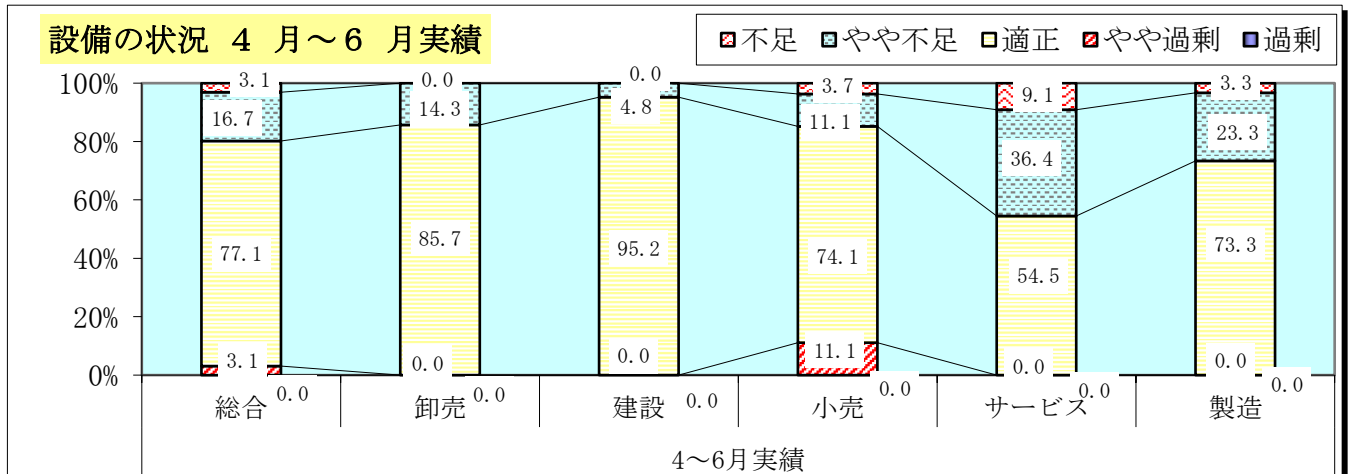


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体で29.6%（前期36.7%）となりました。業種別では、製造業53.3%、建設業33.3%、小売業22.2%等となりました。
- 今後の借入予定では、全体で25.0%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、製造業56.7%、建設業33.3%等となりました。
- 民間金融機関からの借入難易度については、「変わらない」と回答した企業が全体で78.7%（前期76.1%）、「容易」2.8%（前期3.7%）、「難しい」9.3%（前期9.2%）となりました。

## 6. 設備投資の動き

### (1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	4～6月実績D.I.	7～9月予想D.I.
1～3月実績							-16.5	
4～6月予想							-20.7	
4～6月実績	総合	0.0	3.1	77.1	16.7	3.1	-16.7	-18.8
	卸売	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0	-14.3	-14.3
	建設	0.0	0.0	95.2	4.8	0.0	-4.8	-9.5
	小売	0.0	11.1	74.1	11.1	3.7	-3.7	-3.7
	サービス	0.0	0.0	54.5	36.4	9.1	-45.5	-45.5
製造	0.0	0.0	73.3	23.3	3.3	-26.6	-30.0	



- 今期の設備状況(不動産を除く)について、「過剰」「やや過剰」とした企業は3.1%、「やや不足」「不足」とした企業は19.8%で、今期D.I.は△16.7となりました。
- 今期D.I.は、前期実績D.I. △16.5に対して0.2ポイント不足感が強まりました。前期調査における今期予想D.I. △20.7に対しては4.0ポイント緩和となりました。
- 業種別の今期D.I.は、全ての業種で不足を示し、殊に、サービス業△45.5と大幅な不足を示しました。
- 7～9月予想D.I.は△18.8で、4～6月実績より2.1ポイント不足感が強まる予想となりました。



## (2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
4～6月(件数) 総合	2	6	8	10	7	2	71
卸売	0	0	0	1	0	0	6
建設	1	4	5	3	5	0	10
小売	1	-	-	2	1	2	23
サービス	0	0	0	2	0	0	9
製造	0	2	3	2	1	0	23

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
7～9月(件数) 総合	2	5	8	6	4	1	80
卸売	0	0	1	0	0	0	6
建設	0	2	4	1	3	0	15
小売	1	-	-	1	1	1	25
サービス	1	1	2	3	0	0	7
製造	0	2	1	1	0	0	27

- 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ35件で前期調査時の31件を4件上回りました。

業種別では、建設業18件、製造業8件、小売業6件、サービス業2件、卸売業1件となりました。

設備投資の実施内容は、「事務機器」10件、「機械更改」8件、「車両」7件、「機械新增設」6件、「土地建物」「その他」共に2件となりました。

- 来期の設備投資予定は、「予定あり」と回答した件数は延べ26件となりました。

業種別では、建設業10件、サービス業7件、小売業・製造業共に4件、卸売業1件となりました。

設備投資の予定内容は、「機械更改」8件、「事務機器」6件、「機械新增設」5件、「車両」4件、「土地建物」2件、「その他」1件となりました。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）  
（業種別度数）

（複数回答）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	3	1	2	7	12	12	3	2	14	10	7	6	41	38	15.2	13.8
同業者間の競争激化	0	0	0	0	4	3	2	2	0	2	3	4	9	11	3.3	4.0
利幅の縮小	4	1	6	6	4	6	2	2	12	9	2	2	30	26	11.1	9.5
人件費の増加	1	1	7	3	1	1	3	2	1	3	3	3	16	13	5.9	4.7
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	1	1	0	0	0	0	3	3	6	5	0	0	10	9	3.7	3.3
人件費以外の経費の増加	0	1	0	0	2	3	1	3	5	4	2	1	10	12	3.7	4.4
大手企業（大型店）との競争激化	3	4	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	6	7	2.2	2.5
合理化の不足	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0.7	0.0
天候の不順	0	0	2	2	4	3	0	0	0	0	0	0	6	5	2.2	1.8
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.4	0.0
原材料高・材料価格の上昇	0	0	17	18	0	0	6	2	25	23	0	0	48	43	17.8	15.6
地場産業の衰退	0	1	0	0	2	2	0	1	0	1	0	0	2	5	0.7	1.8
集客力の低下	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	2	3	0.7	1.1
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
為替レートの変動	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	1	0.7	0.4
販売商品の不足・商品物件の不足	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	3	2	6	5	2.2	1.8
販売納入先からの値下げ要請	0	0	0	0	0	0	1	4	0	1	0	0	1	5	0.4	1.8
人手不足	2	1	11	11	3	4	4	5	5	10	1	2	26	33	9.6	12.0
商圏人口の減少	0	0	0	0	11	8	1	1	0	0	0	0	12	9	4.4	3.3
取引先の減少	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	3	6	1.1	2.2
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	1	1	0	0	2	0	2	3	0	0	5	4	1.9	1.5
輸入製品（商品）との競争激化	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	2	0.4	0.7
問題なし	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	3	3	1.1	1.1
地価の高騰	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0.7	0.0
その他	0	0	0	1	2	2	1	0	1	2	1	1	5	6	1.9	2.2
流通経路競争の激化	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0.4	0.4
取扱商品（業務）の陳腐化	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0.0	0.7
仕入先からの値上要請	2	2	0	0	7	11	0	0	4	5	0	0	13	18	4.8	6.5
下請けの確保難	0	0	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	2.2	1.8
合計	18	15	52	56	64	70	30	29	81	81	25	24	270	275	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「原材料高・材料価格の上昇」 43 件  
 第2位～ 「売上の停滞・減少」 38 件  
 第3位～ 「人手不足」 33 件

\*前期\*

第1位～ 「原材料高・材料価格の上昇」 48 件  
 第2位～ 「売上の停滞・減少」 41 件  
 第3位～ 「利幅の縮小」 30 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
卸売業	大手企業(大型店)との競争激化 4	仕入先からの値上要請 2	売上の停滞・減少、利幅の縮小、人件費の増加 他 1
建設業	原材料高・材料価格の上昇 18	人手不足 11	売上の停滞・減少 7
小売業	売上の停滞・減少 12	仕入先からの値上要請 11	商圏人口の減少 8
サービス業	人手不足 5	販売納入先からの値下げ要請 4	工場・機械の狭小・老朽化 人件費以外の経費の増加 3
製造業	原材料高・材料価格の上昇 23	売上の停滞・減少 人手不足 10	利幅の縮小 9
不動産業	売上の停滞・減少 6	同業者間の競争激化 3	人件費の増加 2

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）  
（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	6	6	11	10	18	20	5	5	16	19	7	5	63	65	25.4	26.0
販路を広げる	6	6	8	8	0	0	3	2	17	16	2	1	36	33	14.5	13.2
情報力を強化する	2	2	5	6	0	0	0	0	5	5	7	6	19	19	7.7	7.6
人材を確保する	1	1	11	14	3	2	5	1	9	9	1	2	30	29	12.1	11.6
技術力を強化（高める）	0	0	6	7	0	0	0	1	0	0	0	0	6	8	2.4	3.2
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	7	9	0	0	7	9	2.8	3.6
機械化を推進する	0	0	0	0	2	1	0	2	5	4	0	0	7	7	2.8	2.8
パート化を図る	0	0	2	2	1	3	3	3	2	1	1	1	9	10	3.6	4.0
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	0	1	2	0	0	0	0	1	2	6	0	0	4	8	1.6	3.2
宣伝・広告を強化する	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	0	2	3	0.8	1.2
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	1	0.8	0.4
新しい事業を始める	0	0	0	0	6	6	7	7	0	0	4	4	17	17	6.9	6.8
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	1	5	0.4	2.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0.8	0.0
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	7	5	0	0	0	0	0	0	7	5	2.8	2.0
特になし	0	0	1	2	4	3	0	0	1	0	2	2	8	7	3.2	2.8
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	1	0	2	3	0	0	0	0	3	3	1.2	1.2
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
不動産の有効活動を図る	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0.8	0.8
輸入品の取扱を増やす	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	3	1	1.2	0.4
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	4	3	1.6	1.2
営業時間を延長する	2	1	0	0	4	6	0	0	0	0	0	0	6	7	2.4	2.8
提携先を見つける	1	0	0	2	2	1	2	2	0	0	1	2	6	7	2.4	2.8
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0.8	0.0
教育訓練を強化する	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
合計	21	18	47	52	54	55	28	27	72	74	26	24	248	250	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 65件  
第2位～ 「販路を広げる」 33件  
第3位～ 「人材を確保する」 29件

*前期*	
第1位～ 「経費を節減する」	63件
第2位～ 「販路を広げる」	36件
第3位～ 「人材を確保する」	30件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位	第2位	第3位
卸売業	経費を節減する 販路を広げる 6	情報力を強化する 2	人材を確保する 新商品・技術の開発・新しい工法の導入 輸入品の取扱いを増やす 営業時間を延長する 1
建設業	人材を確保する 14	経費を節減する 10	販路を広げる 8
小売業	経費を節減する 20	新しい事業を始める 営業時間を延長する 6	仕入先を開拓・選別する 売れ筋商品を取扱う 5
サービス業	新しい事業を始める 7	経費を節減する 5	パート化を図る 店舗・設備を改装する 3
製造業	経費を節減する 19	販路を広げる 16	人材を確保する 流通経路の見直しをする 9
不動産業	情報力を強化する 6	経費を節減する 5	新しい事業を始める 4

## 特別調査

### 「アフターコロナと中小企業」

**問 1** 政府が企業に対して賃上げを要請していますが、貴社では賃上げ、もしくは一時金の支給を実施しましたか。賃上げをした方は、その原資について1～4から、一時金の支給をした方は、その原資について6～9の中から選んでお答えください。賃上げや一時金の支給をしていない方は、5、0とお答えください。

	賃上げの実施					一時金支給の実施				
	1. 販売価格の引上げ	2. 経費の削減	3. 内部留保の取り崩し	4. その他( )	5. 賃上げはしていない	6. 販売価格の引上げ	7. 経費の削減	8. 内部留保の取り崩し	9. その他( )	0. 一時金は支給していない
合計(構成比)	15.7%	17.6%	8.3%	4.6%	53.7%	8.3%	9.3%	7.4%	1.9%	73.1%
総合	17	19	9	5	58	9	10	8	2	79
卸売	2	0	0	0	5	1	1	0	0	5
建設	4	6	4	1	6	3	3	3	0	12
小売	1	3	1	3	19	0	3	1	1	22
サービス	3	3	0	0	5	1	1	1	0	8
製造	6	4	2	1	17	3	0	2	1	24
不動産	1	3	2	0	6	1	2	1	0	8

上記質問において、「賃上げの実施」については、108先中58先が5.の「賃上げはしていない」との回答となりました。「一時金支給の実施」では、79先で0.の「一時金は支給していない」との回答となりました。

**問 2** 貴社では、昨今の原材料・仕入価格の上昇分や電力・エネルギー価格の上昇分相当を、販売価格に転嫁(上乘せ、値上げ)できていますか。「原材料・仕入価格」については1～4から、「電力・エネルギー価格」については5～8からそれぞれお答えください。

	原材料・仕入価格				電力・エネルギー価格			
	1. 全て転嫁できている	2. ほぼ転嫁できている	3. やや転嫁できている	4. 転嫁できていない	5. 全て転嫁できている	6. ほぼ転嫁できている	7. やや転嫁できている	8. 転嫁できていない
合計(構成比)	3.7%	21.3%	43.5%	31.5%	0.9%	11.1%	35.2%	52.8%
総合	4	23	47	34	1	12	38	57
卸売	0	4	2	1	0	1	4	2
建設	0	5	12	4	0	4	6	11
小売	2	6	8	11	1	4	9	13
サービス	1	3	4	3	0	1	4	6
製造	1	4	18	7	0	2	11	17
不動産	0	1	3	8	0	0	4	8

上記質問において、「原材料・仕入価格」で、3.が47先と一番多く、次いで、4.の34先となりました。「電力・エネルギー価格」では、8.が57先と一番多く、次いで7.の38先となりました。

**問 3** 新型コロナウイルス感染拡大から3年が経過しましたが、貴社の現在の売上について、感染拡大前(およそ3年前)と比べ、どの程度となっていますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. 大幅増加(201%以上)	2. 増加(151%～200%)	3. やや増加(111%～150%)	4. ほぼ変わらない(90%～110%)	5. やや減少(71%～89%)	6. 減少(51%～70%)	7. 大幅減少(50%以下)		
	合計(構成比)	1.9%	1.9%	20.4%	33.3%	33.3%	6.5%	2.8%	
総合	2	2	22	36	36	7	3		
卸売	0	0	2	2	3	0	0		
建設	0	1	4	10	5	1	0		
小売	0	1	5	7	9	2	3		
サービス	0	0	3	1	5	2	0		
製造	1	0	5	9	13	2	0		
不動産	1	0	3	7	1	0	0		

上記質問において、4.と5.が各36先と一番多く、次いで2.の22先となりました。

**問 4** 貴社では、3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。右の図も参考に、以下の1～6の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

	1. 現在の事業を、現状のまま継続したい	2. 新しい販路・市場を開拓したい	3. 新しい製品・商品・サービスを開拓したい	4. 全く異なる事業を手がけたい	5. 事業は縮小・撤退する	6. 特に考えていない(わからない)				
合計(構成比)	51.9%	20.4%	11.1%	3.7%	5.6%	7.4%				
総合	56	22	12	4	6	8				
卸売	4	3	0	0	0	0				
建設	14	4	0	0	2	1				
小売	11	5	4	2	2	3				
サービス	6	1	3	0	0	1				
製造	13	6	5	1	2	3				
不動産	8	3	0	1	0	0				

上記質問において、1. が56先と一番多く、次いで2. の22先、3. の12先等となりました。

**問 5** 貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。

	1. 賃上げ等、待遇面の改善	2. ワークライフバランスの充実(長時間労働是正等)	3. テレワーク等、IT化の推進	4. 人事管理(評価、処遇)の適正化	5. 非正規雇用の処遇改善	6. 高齢者の就業促進	7. 女性が活躍しやすい環境整備	8. 外国人人材の活用	9. 子育て、介護との両立	10. 特にない
合計(構成比)	23.9%	6.5%	3.5%	9.5%	5.5%	16.4%	10.0%	2.5%	6.0%	16.4%
総合	48	13	7	19	11	33	20	5	12	33
卸売	4	0	2	1	2	1	1	1	1	1
建設	14	3	2	4	3	11	5	0	3	4
小売	6	2	0	2	4	6	2	0	4	12
サービス	5	0	1	5	1	2	7	0	2	2
製造	11	6	1	5	1	13	4	4	1	10
不動産	8	2	1	2	0	0	1	0	1	4

上記質問において、1. が48先と一番多く、次いで6. の33先、7. の20先等となりました。